

全国学力・学習状況調査結果について

令和8年9月2日 行方市立玉造中学校

令和8年4月に、3年生を対象に実施しました「令和8年度全国学力・学習状況調査」につきまして、本校の結果、課題と対策を以下のようにまとめましたのでお知らせいたします。

この度のお知らせは、お子さまの学習における進捗状況を共有し、共に学び成長する機会と捉えております。本校では、今回の調査結果をふまえ、学校教育目標の実現に向けて引き続き取り組んで参ります。今後とも、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【国語科】

〈分析と課題の解決に向けて〉

- ・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる生徒が多いです。
- ・「書くこと」において、表現の効果を考えながら、気持ちがより伝わるように、表現を工夫して書くことのできる生徒が多いです。
- ・「読むこと」において、文章中に書かれている、会話の表情を表す擬音語・擬態語の特徴をまとめたものとして適切なものを選択することに課題が見られました。授業では、限られた時間内に、キーワードや要点を捉えながら文章を読む時間を増やします。
- ・「読むこと」において、二つの例文を見比べながら、擬態語が表している具体的な様子と擬態語の効果を書くことに課題が見られました。授業では、筆者の意図を捉え、それを踏まえて自分の考えを述べる課題設定を行います。

【数学科】

〈分析と課題の解決に向けて〉

- ・「数と式」において、具体的場面において正の数と負の数を用いて変化や状況を表すことのできる生徒が多いです。
- ・「数と式」において、問題場面における考察の対象を明確に捉えることのできる生徒が多いです。
- ・「数と式」において、同類項の意味の理解に課題が見られました。文字式では、「項」「係数」「指数」「符号」の意味を再確認し、同類項は「文字の種類と指数がともに同じ項」であることを繰り返し扱います。また、符号を含めて項を一つのまとまりとして捉える活動を取り入れます。
- ・「図形」において、筋道を立てて考え、証明することに課題が見られました。図形の証明では、「仮定」「結論」「根拠」の区別を明確にし、証明の構成を整理する指導を行います。また、条件を図に書き込み、どの条件から何が言えるかを段階的に確認する活動を取り入れます。
- ・「データの活用」について、累積度数の意味の理解に課題が見られました。度数・相対度数・累積度数・累積相対度数を比較する表や図を用い、それぞれの意味と求め方の違いを整理します。また、「何を求める問題なのか」を読み取る設問分析の指導を充実させていきます。

【英語科】

〈分析と課題の解決に向けて〉

- ・「聞くこと」において、日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を聞き取ることができる生徒が多いです。
- ・「書くこと」において、日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができる生徒が多いです。
- ・「読むこと」において、「日常的な話題について、自分の置かれた状況や目的に応じて、必要な情報を聞き取ったり、読み取ったりすることに課題が見られました。授業では、教科書本文の読解に取り組む際、どんな情報を聞いたり読んだりするのかという「目的意識」をもって活動に取り組みます。また、日常的な話題に関する語彙の定着を図ります。

【質問紙】

〈分析と課題の解決に向けて〉

- ・「人が困っているときは、進んで助けている」「人の役に立つ人間になりたい」という質問項目に対して肯定的に回答する生徒が多いです。今後も、本校の教育目標である「自立貢献～人の役に立つ喜びを実感できる生徒の育成～」の実現に向けて、貢献できる機会を意図的に設けて指導・支援に努めていきます。
- ・「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり新たな考え方に気付いたりすることができますか」という質問項目に、肯定的に回答する生徒が多いです。今後も、探究的な学習活動に重点を置き、協働的に課題を解決する力を伸ばしていけるように、指導・支援に努めていきます。
- ・「平日及び休日、学校の授業時間以外にどれくらいの時間勉強しますか」の質問項目に、1時間以上と回答する生徒の割合が、全国や県の回答と比べて少ないです。学校の授業時間以外に学習に取り組めるように、家庭での学習の方法や計画の立て方などを示すとともに、ICT 機器を家庭学習でも使用することを推進していきます。

【保護者の皆様へ】

今回の調査での結果を踏まえ、学校とご家庭とが共通理解のもと、課題解決に向けて取り組んでいくことが大切であると考えます。特に以下の点につきましては、お子さまへの声かけや励ましと共に、ご家庭で折りに触れて話題にしてくださるよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

- ・家庭での適切な学習時間の確保について学校でも呼びかけているところです。「学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」という質問に、肯定的に答えた生徒は教科の平均正答率が高くなるという全国的な分析もでております。学校でも、授業の最後に振り返りを行う時間を設定しております。ご家庭でも、学習の振り返りを行うことの大切さについて話題にいただき、学習している様子に気付いたときには、励ましの声かけをお願いいたします。